

不可能に挑戦する

七十人

ホルヘ・F・ゼバヨス長老

永遠の命とは、永久に天の御父やわたしたちの家族とともに住むことです。この約束は、わたしたちが自分のできる範囲で最善を尽くすうえで、最大の動機とならないでしょうか。

主イエス・キリストはアメリカ大陸で十二使徒を召したとき、彼らにこうお命じになりました。「わたしや天におられるあなたがたの父が完全であるように、あなたがたも完全になることを、わたしは望んでいる。」<sup>1</sup> 救い主は御自分を捨て、ほかのだれにも全うできない使命を地上で立派に果たされたばかりでした。それによって主は、主御自身と主の御父、すなわちわたしたちの御父が、わたしたち一人一人が従うべき模範であると、権威をもって宣言することがおできになったのです。

人間的な視点から見ると、初めのうちは、完全になることはとうてい不可能に思えます。しかし、それを達成するために、わたしたちは独りではないということを理解すると、可能なことのように思えてきます。人はいつでも最も驚くべき力強い助けを得ることができるのです。第1に、永遠の御父は寛大で愛に満ちた手を差し伸べてくださり、わたしたちがみもとへ帰り、永遠とともに住むことを願っておられます。わたしたちの御父として、わたしたちの過ちや弱さ、犯す罪を、わたしたちが心から完全に悔い改めるなら、快く赦したいと望んでおられます。さらに、御父の子供たち一人一人に対する深い愛を最大限に表す方法として、救い主がなさった比類なき業、すなわち贖いの影響をわたしたちにもたらしてくださいました。贖いは、わたしたち一人一人のために、御父の御心を常に進んで行う従順な御子によってもたらされた、最も偉大な愛の行為です。

主は預言者ジョセフ・スミスに次のように啓示されました。「わたしの戒めを守り、最後まで堪え忍ぶならば、あなたは永遠の命を得るであろう。この賜物は、神のあらゆる賜物の中で最も大なるものである。」<sup>2</sup> 主が下さったこの約束は達成することができるものです。永遠の命とは、永久に天の御父やわたしたちの家族とともに住むことです。<sup>3</sup> この約束は、わたしたちが自分のできる範囲で最大限努力し、約束されている事柄を最善を尽くして追い求めるうえで、最大の動機とならないでしょうか。

回復の夜明けを迎え、この驚くべき業がまさに人の子らの中に現れようとしたとき、主はこう言われました。「それゆえ、おお、神の務めに出で立とうとする人々よ、終わりの日に神の前に罪のない状態で立てるように、あなたがたの心と、勢力と、思いと、力を尽くして神に仕えなさい。」<sup>4</sup> 心と勢力と思いと力を尽くすとは、全身全霊をささげ尽くすということです。

デビッド・O・マッケイ大管長は、たゆまず努力する人へのみ豊かな報いがもたらされると述べています。<sup>5</sup> この報いは、イエス・キリストを信じる信仰をはぐ

くみ、神の王国を強め、築くために、主の御心に従って働き、犠牲をささげ、受けたものをすべて与える人々のためのものです。

もしわたしたちが一生を通じて、イエス・キリストを信じる信仰を心から示し、戒めに従い、忍耐し、勤勉に努めるならば、永遠の命を与えられ、完全な者となり、家族が永遠に幸福になるという主の約束を実現することができるのです。

主はわたしたちにできないことをするよう期待されてはおりません。主のように完全になるという命令は、最善を尽くし、愛にあふれた永遠の御父により祝福された才能や特質を見いだして伸ばすようにという励ましです。御父は、わたしたちが神の子供として持っている可能性を理解するよう勧めておられます。御父はわたしたちを御存じです。わたしたちの能力や限界を知っておられます。完全になり、永遠の命を得るようにという勧めとチャレンジは全人類に向けたものです。

ベニヤミン王は「人が自分の力以上に速く走ることは要求されてはいない」と述べたすぐ後で、「賞を得るために勤勉に励むのは必要なことである」6と指摘しました。神はわたしたちに最善を尽くす以上のことを求めておられません。そのような要求は正しいことではないからです。しかし、最善を尽くさない行為を受け入れられることもありません。それも正しいことではないからです。ですから、常に最善を尽くして神と隣人のために努めましょう。家族のために、また教会の召しを果たすために、できるかぎりの力を尽くしましょう。最善を尽くし、日々少しずつより善い人となりましょう。

わたしたちはあらゆる点で救い主の恩恵にあずかっており、救い主がもたらしてくださった贖いがなければ、救いと永遠の命を得ることは不可能です。しかし、この最高の祝福がわたしたちの生活の中で有効となるには、自分がなすべきことをまず行わなくてはなりません。「それは、わたしたちが自分の行えることをすべて行った後、神の恵みによって救われることを知っているから」7です。信仰、熱意、献身、責任、そして愛をもって、できるかぎりのことを行い、不可能なことを達成するためにできるかぎりの力を尽くしましょう。それは人の考えでは不可能なことを行うことです。しかし、愛に満ちた御父の助けとわたしたちの救い主がもたらしてくださった無限の犠牲により、神やわたしたちの家族とともに永遠に住むという最も栄光あふれる偉大な賜物を頂くことができるのです。

わたしたち一人一人が、ふさわしい状態で聖餐にあずかることにより、バプテスマの水に入ったときに、また回復された福音のそれぞれの儀式を受けたときに天の御父と交わした約束を覚え、永久に新たにできるよう祈ります。わたしたちが配偶者、親、子供、兄弟姉妹としての役割を果たすときに、また召しを果たし、福音を分かち合い、さまよう人を助け、先祖の救いのために働くときに、また仕事や日々の生活の中で、最善を尽くすことができるように祈ります。

「わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした」8とパウロが宣言したように、わたしたちもそのような生涯を送ることができるように祈ります。

そうするときに、わたしたちは天の御父が定められた要求を満たし、この世においても永遠の世においても、かつてないほどの祝福を受けることができます。御父は持てるすべてをわたしたちに与えたいと願っておられ、わたしたちが永遠の命という最高の賜物を受けられるようにさえてくださるのです。

たとえ人の目から見て、到達できない不可能なチャレンジに思えても、御父と御子は不可能な事柄に到達できることを教えてくださっていると証します。永遠の命を得ることは確かにできます。今もそして永遠においても幸福になることができるのです。

この栄光あふれる約束が含まれた完全な計画をお作りになったのは天の御父であり、御父は生きておられます。御子イエス・キリストは、わたしたちが罪の結果から解放されるために、わたしたちがこの世で犯す罪と不正な行為の重荷を御自分の身に引き受けてくださいました。わたしは主イエス・キリストが生きておられることを知っています。福音と神権は預言者ジョセフ・スミスを通して地上に最終的に回復されました。今日わたしたちは、天の御父のみもとへ戻る道を示す神によって召された使徒と預言者の非常に大きな祝福にあずかっています。トーマス・S・モンソン大管長は今日、この偉大な業を導くために召されている神の預言者です。聖なるイエス・キリストの御名により証します。アーメン。

注

1. 3ニーファイ 12 : 48
2. 教義と聖約 14 : 7
3. 『聖句ガイド』「永遠の命」の項、48 参照
4. 教義と聖約 4 : 2
5. *The Teachings of David O. McKay*, メアリー・ジェーン・ウッドガー (2004 年), 300
6. モーサヤ 4 : 27
7. 2ニーファイ 25 : 23
8. 2テモテ 4 : 7